



# 道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2023 Spring No.27

- 道技役員選挙管理委員会設置の件
- 役員選挙告示
- 巻頭言 「過渡期」
- 「第164回北海道歯科技工学術研修会」報告
- 「ノンクラスデンチャーについて」 札幌歯科技工士会 小林 裕矢
- 「地域組織会長懇談会」報告
- 「地域組織会長に聞く」 十勝歯科技工士会 会長 宮田 剛志
- 「社会貢献賞受賞」
- 「開業者に聞く」 札幌歯科技工士会 清水 崇
- 「歯科技工における手話表現・見える言葉」 札幌歯科技工士会 工藤 三重子
- お知らせ：新型コロナウイルス感染症について/メーリングリスト登録について/  
Twitter 開設について/学術論文募集について
- 理事会報告
- 編集後記
- 活動・会員特典の紹介

PC用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/keitai.html>

表紙 / 巻頭言 / 手話表現 / 編集後記写真 札幌歯科技工士会 海津雅隆

## ● ● 道技役員選挙管理委員会設置の件 ● ●

2022年10月8日

会 員 各 位

公益社団法人北海道歯科技工士会  
会 長 扇 照 幾

役員選挙規程第6条及び第7条により下記のとおり道技選挙管理委員を委嘱し、道技選挙管理委員会を設置いたしました。ここにお知らせいたします。

記

道技選挙管理委員会委員

(所属)	(氏 名)
札幌	齊 藤 諭
札幌	鈴 木 幹 敏
小樽	太 田 桂 吾
千歳	大 江 健 一
苫小牧	河 崎 和 洋

(敬称略)

## ● ● 道技役員選挙管理委員会委員長選任の件 ● ●

2022年11月19日

会 員 各 位

公益社団法人北海道歯科技工士会  
道技役員選挙管理委員会

役員選挙規程第7条により委員の互選をもって下記のとおり道技選挙管理委員会正副委員長を選出したのでここにお知らせいたします。選挙実施に当たっての詳細は別に発表いたします。

記

道技役員選挙管理委員会	委員長	大 江 健 一
同	副委員長	齊 藤 諭
同	委 員	太 田 桂 吾
同	委 員	河 崎 和 洋
同	委 員	鈴 木 幹 敏

(敬称略)

# 役員選挙告示

会 員 各 位

2023年3月1日  
公益社団法人北海道歯科技工士会  
役員選挙管理委員会  
委員長 大江 健一

任期満了に伴う北海道歯科技工士会役員選挙に関して、定款第19条及び第25条並びに役員選挙規定により下記要領にて選挙を行いますのでお知らせいたします。

## 記

- 選挙の期日 2023年5月20日（土）【社員総会開催日】
- 選挙の場所 北海道歯科技工士会館  
札幌市北区北37条西4丁目3-8 電話011-717-7155
- 選挙の種類等 理事：定数10名以上15名以内  
監事：定数3名以内  
(外部監事1名の任期途中であり2名の選挙とする)
- 立候補者の届出書類 『立候補届』1部  
\* 1 『立候補届』は、氏名（捺印）、生年月日、現住所、就業する場所及び名称、略歴、趣意を記載した書面。  
\* 2 『立候補届』は、所定用紙を使用すること。  
届出用紙は、北海道歯科技工士会館内役員選管に請求してください。
- 立候補の届出期間 2023年4月3日（月）～10日（月）午後5時  
役員選挙管理委員会に『立候補届』を郵送又は持参する事。  
\* ファクシミリ、電子メールでの届出は認めない。
- 役員任期 2023年5月20日開催の第10回社員総会終結の時から2025年5月開催予定の社員総会終結の時までの2年。

以 上

## 定 款

- 第19条 社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の過半数をもって行う。
- (省 略)
  - 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第24条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
- 第25条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。
- 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
  - 理事会は、会長を選定又は解職する。この選定において、理事会は、社員総会による会長候補者の推薦結果を参考にすること出来る。
  - (省 略)
  - (省 略)

## 過 渡 期

2022年6月7日に閣議決定した経済財政運営の指針「骨太の方針」に「国民皆歯科健診」が盛り込まれました。これは、国民が年代問わず歯科健診を受けられる制度の実現を目指す方針です。全世代での歯科健診を生涯に渡って制度化することで、お口の健康を守ることを目的とし、今後、実施に向け具体的に検討されていきます。

また2022年6月6日に開催された札幌市議会において、「札幌市歯科口腔保健推進条例」が可決成立しました。施行は令和5年1月1日となっており、ライフステージや個別の目的・状況に応じた施策が推進されます。

このように歯科医療の重要性が取り上げられる一方、歯科技工士国家試験の合格者数は昨年827名と1,000名を割り込んでいます。また総務省によりますと2023年1月1日時点の18歳人口は112万人、2032年には102万人、2040年には88万人となる見込みです。実際に北海道における歯科技工士学校への入学者数は、ここ数年3校を合わせても50名前後となっており、2040年までの18歳人口の減少を鑑みると、歯科技工士不足は危機的な状況となっていくでしょう。人材確保は喫緊の問題です。

こうした歯科技工士減少問題解決の糸口として、若手歯科技工士の人材育成や結婚・出産後の女性歯科技工士が活躍できるような環境整備があるのではないかと考えます。私自身、日々教育に携わる中、年々若者とは年が離れていき、試行錯誤しております。昔はカービングを先生に折られ、ワックスアップは溶かし落とされ、そこで悔しい思いをし、何クソと作り直し技術を磨いたも

のでした。しかし「昔はこうだった」「我々の時代は」という思いを断ち切り、教育効果や効率を考え、時代に合わせて教育方法も変化し続けなければならないのだと痛感しております。もちろん駄目なものは駄目ですから、指導や注意は必要です。一昨年若者に流行したAdoの歌ではありませんが、「うっせえわ」と思われることは構いません。しかし、「歯科技工士を辞める」という選択に至ってほしくありません。そのため一人ひとりの能力やキャパシティを判断し、寄り添い、時間をかけて信頼関係を築きながら、少しでも「やりがい」や「楽しさ」を感じてもらえるよう日々葛藤しております。

また現在、私の職場では育休の職員がおり、女性の歯科技工士にとって、産休・育休制度や時短勤務、さらには子供が熱を出した際は、女性に限らず男性も休みを取りやすい体制など、仕事を続けていくことを前向きに考えられる環境づくりを志向しています。

歯科技工士は、深い知識と高い技術が必要であり、患者様のためにお口の健康をサポートするやりがいに溢れる素晴らしい職業だと確信しています。結婚・出産後の女性歯科技工士の方を周囲がしっかりサポートし、安心して長く働ける環境になっていくと同時に、多くの若者が目指したいと思う職業になってほしいと切に願っております。

そのためにも私自身、会員の皆様とともに、歯科医療・歯科技工業界全体の発展に邁進していく所存でありますので、諸先輩の皆様方のご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



## ● ● 第164回北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

2023年1月21日に苫小牧市民会館を会場に第164回北海道歯科技工学術研修会を対面形式で開催致しました。

講演Ⅰでは株式会社プライムデンタルの三浦知也先生に『患者にとって最適な補綴治療・補綴装置を目指して』と題してご講演いただきました。より良い補綴装置を製作するための、社内での取り組みや業務内容を具体的に教えていただきました。各部門の役割や連携の重要性、パーシャルデンチャーを製作する際の、サベイドクラウンを含む前処置での連携など臨床ケースを通して示していただき、大変勉強になりました。また、関係する方々へ感謝する気持ちを大切にされ、つつい忘れがちですが、再確認することが出来ました。

講演Ⅱでは旭川でご開業されているThe northernlights DC studioの辻秀憲先生に『材料特性を考慮したマテリアル選択』と題してご講演いただきました。まず、辻先生が現在の素晴らしい技術や知識を、どのような方々に出会い、習得

公益社団法人北海道歯科技工士会 理事 石井 友和

してきたかを教えていただき、モチベーションの変化などをグラフで示していただきました。口腔内に調和した、審美的な補綴装置を数多く提示していただきましたが、適合、咬合などの基本がとても大切ということも合わせて伝えていただきました。プレスセラミックスやジルコニアの材料特性を日常の臨床技工を通して示していただき、大変勉強になり、明日からの臨床に活かせるお話をいただきました。

三浦先生、辻先生の前向きな取り組みや症例を拝聴させていただき、私自身も新たな気持で、自己研鑽に励もうと思えた、大変有意義な研修会となりました。

最後になりますが、今回の研修会におきましては苫小牧歯科技工士会の皆様に多大なご協力をいただき無事に研修会を終えることが出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後とも北海道歯科技工士会の研修会運営にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



# ● ● ノンクラスプデンチャーについて ● ●

札幌歯科技工士会 小林 裕矢

## ● 目的

審美性を求められる近年、コストや手軽さを考慮されて、ノンメタルクラスプデンチャーを選択される患者様は増えていると思われます。

患者様に満足して頂くには審美的なアームのデザインと、当たり前ですが、デンチャーとしてしっかり機能を果たす事が重要になります。

その際に設計にて考慮する点はいくつもあります。



fig.1

## ● 設計、製作の注意点

メタルクラスプが、ピンクのレジニアームに置き換わっただけでいいのか？

維持力も大切だが、支持力・把持力の設計は十分考慮されているか？

そのデンチャーを自分の口腔内に装着できるのだろうか？

大きな口をあけて笑える義歯が製作できているのだろうか？

何でも噛めて、違和感なく一日装着して過ごすことができるのだろうか？

など考えます。

審美的なアームにするためのポイントもいくつかあります。

粘膜が吸収していれば、アーム部分を厚くしリップサポートを付与し、粘膜が張っている際は、アーム部分を極力薄くし、粘膜に移行的にすることで異物感を減らし、審美性も高くなります。

また、歯肉と床の厚みの連続性、床用レジンの色調、歯冠長の調和、歯冠乳頭形態や高さ、歯頸ラインの連続性、歯冠と床の連続性などを考慮し製作いたします。



fig.2

## ● 機能的設計の注意点

樹脂のみで製作するイメージが多いかもしれませんが、機能面を考慮すると、金属床併用する事が重要となります。(fig.2)

金属床によってしっかり咬合圧をレストに伝えることができ、唇側面には樹脂アームを使用しているため機能的、審美的にレベルの高い義歯の提供が可能になります。

鉤歯を製作できる環境であれば、適切なアンダーカットの付与、ガイドプレーンの付与、理想的なレストシートを付与する事が重要となります。(fig.3)

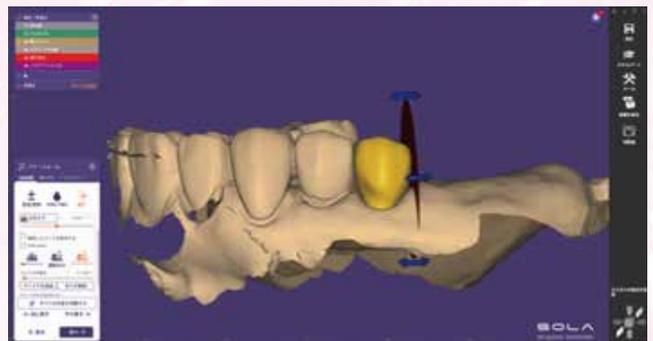


fig.3

## ・片側の設計ポイント

- ▶アームの本数は基本2本。
- ▶サベイングの際はアームを設定する隣在歯 (fig.5の左下3番) の半歯以上サベイングする。
- ▶粘膜のアンダーカットもサベイングする。
- ▶アンダーカット量：0.5mm(fig.4)



fig.4

- ▶前方のアーム（左下4番）着脱の際に開く可動域が大きい為、サベイラインより下に外形ラインを設定し極力歯が見えるようにする。
- ▶後方のアーム（左下5番）近心はサベイラインより下に外形を設定。遠心は審美的に問題がなければ、サベイラインより上に設定する。多少だが支持の役割を果たす。(fig.5)

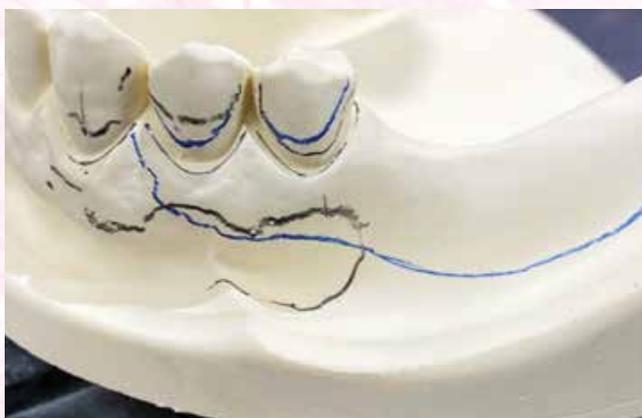


fig.5

- ▶舌側のアームの数は2本でも可能ですが、鉤歯の長さ、アンダーカット量によっては舌側のみ3本にした方が安定性が良い。
- ▶金属床併用の際、レストの位置は4番近心、5番遠心に置くのが望ましい。
- ▶可能であれば、ガイドプレーンを付与。(fig.6)



fig.6

## ・まとめ

審美性を求められる近年、ノンメタルクラスプデンチャーを選択する患者様は増えていると思われます。

しかしながら、審美性だけではなく、金属床と併用し剛性と支持力や把持力を最大限に活かし、パーシャルデンチャーとして機能回復する必要がある。ラボワークとして、出来ること、出来ないことの制限は当然あるが、単なるモノづくりに終わるのではなく、患者の審美的な要望に応えるとともに、きちんと機能回復できる義歯作りに今後も研鑽していきたい。

## ● ● 2022 年度地域組織会長懇談会報告 ● ●

公益社団法人 北海道歯科技工士会 専務理事 廣田 高志

11月5日（土）北海道歯科技工士会館において2022年度地域組織会長懇談会が開催された。藤王常務理事の点呼の後、座長選出では執行部一任との意見をうけ長口副会長を選出し地域組織会長懇談会を開会した。扇会長の挨拶では今年度の事業の遂行状況の報告、また次年度へ向けた事業計画について忌憚のない意見を聞かせていただきたいと挨拶された。2022年度事業中間報告では当初の計画どおりに遂行されており、各地域で開催された研修会の報告を織り交ぜながら報告をし、次年度の学術研修事業をどのような形でおこなうか協議した。また、会館修繕については以前の協議をもとに工事施工会社数件に見積もりを依頼し、屋上防水工事等を施工すると報告した。

参与会についても協議され、現段階での参与会会員の減少もあり各地域組織の会員で参与会の推薦対象のかたに対して声掛けして頂きたいと報告された。

2023年度の第10回社員総会では任期満了に伴う道技役員選挙があり、選挙工程表より日程の説明があった。メーリングリストの登録状況では現時点で144名の会員が登録されていると報告があり全体の三分の一程度の登録なので、再度、地域組織の会長より地方の会員にメーリングリストの周知案内をお願いした。

その後、道技福祉共済会を開催し自動車保険および休業補償保険の収支報告がされた。

休業補償保険については加入者の、減少などもあり今一度前向きに検討していただき一人でも多くの加入に結び付けてほしいと話された。

最後に北海道歯科技工士連盟 支部代表者会議があり協議事項および報告事項の説明をされた。報告事項の中で、日本歯科技工士連盟の活動報告をされ新執行部がどのような活動をしていくのか、我々の意見も取り入れていただけるよう要望していくと話された。

全日程を滞りなく終了し、2022年度地域組織会長懇談会を閉会した。



## 地域組織会長に聞く

十勝歯科技工士会 会長 宮田 剛志

2021年4月、十勝歯科技工士会の会長をお引き受けすることとなりました。

日本中、世界中が新型コロナで大騒ぎしている真っ只中であったこともあり、大変な時期に引き受けてしまったのだと、正直頭を抱えこんでしまっておりました。しかしながら実際は、定例会や理事会、恒例行事なども企画はしていてもほとんど中止や延期が続き、結局最初の1年は北海道歯科技工士会主催の学術研修会をハイブリッド形式で十勝開催した以外、会長らしい仕事はあまりすることなく終わってしまい、おそらく十勝歯科技工士会史上最も楽な一年を過ごした会長になってしまったのではないかと思います。

就任当初の心配は杞憂に終わったわけですが、2年目の2022年に入ると世の中のコロナへの対応も変わり、いわゆる「ウイズコロナ」ということで我々十勝歯科技工士会も例年通りの行事をほぼ行う事が出来、十勝歯科技工士会自主研修会及び歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会の三団体合同研修会の学術事業をはじめ、パークゴルフ大会・ビリヤード大会の厚生事業、更には2年間中止が続いていた新年交礼会も無事開催することが出来ました。

どれも参加人数は少なめではありましたが、漸く会長らしい仕事をする事が出来てホッとしたのと同時に、2年目にしては妙に不慣れな挨拶などで会員みなさんにご迷惑もお掛けしてしまいました。今後は少しずつでも以前のような活気のある会に戻していけるよう、理事の方々と共に努力していきたいと思っております。

最後に、これだけコロナに気を付けながら事に当たってきたのにもかかわらず、今年になってコロナに罹ってしまいました。任期満了間近の自身の罹患にちょっとがっかりですが、最後まで与えられた責務をはたしていきたいと思っております。



## ● ● 八重樫新一氏、令和4年度北海道社会貢献賞 「優良医療職員」を受賞 ● ●

公益社団法人 北海道歯科技工士会 会長 扇 照幾

八重樫新一氏（公益社団法人北海道歯科技工士会 相談役）が、令和4年度（2022年度）北海道社会貢献賞「優良医療職員」を受賞いたしました。心よりお祝い申し上げます。

八重樫氏の御略歴を紹介いたします。八重樫氏は、昭和51年に社団法人北海道歯科技工士会の会員となり、まだ若い当初から北海道歯科技工学術大会において研究論文を発表し、積極的に学術研鑽に励んでいらっしゃいました。また地域組織内の活動においても札幌歯科技工士会で昭和61年より10年間理事を務め、その活動が評価され、平成10年より社団法人北海道歯科技工士会の理事に就任されました。その後、常務理事、副会長を経て平成27年には公益社団法人北海道歯科技工士会会長として選任されました。平成31年に北海道歯科技工士会会長職を退いた現在も、北海道歯科技工士会相談役として多くの経験を生かし、後輩の指導に尽力されております。在職中は北海道が主催する離島派遣事業に対し長年に亘り調査企画を担当され、今現在実施されている離島派遣事業の基礎を構築されました。

受賞によせて（一期一会）

八重樫氏の役員歴は、社団法人北海道歯科技工士会であった時代からを通算して最長記録を持っております。またその時々々の役職も複数期を経験されているので理事会での八重樫相談役の発言は本当に貴重なご意見が多く、後輩理事への知恵袋となっています。

八重樫氏が会長として出席した医療団体等の会議やその後の懇親会では自然と人が集まり、輪の中心にいる存在でした。八重樫氏が持っている柔らかい人当たりが、人を集めてくるのだろうと推測いたします。ソーシャルサポートの持ちわせていない私は是非見習っていききたいものだと思います。私たち歯科技工士は、歯科補綴物を製作して提供していくことが仕事であるがゆえに、人とのコミュニケーションをとる時間が少ない環境かもしれません。だからこそ人とのふれあいがある場面では、より良い関係になるように他者を第一に思う気持ちを忘れないようにしなければいけないと八重樫氏をとおして学びました。

北海道庁では、日常生活を明るく住みよい環境にするため、住民運動やボランティア活動等の自主的な運動を実践し、豊かな地域社会づくりに顕著な功績のある個人と団体に対して、北海道知事表彰を行っています。医療職員のカテゴリーは2団体枠の狭き門であり、今回の受賞は大変価値のある事であります。



## 開業者に聞く

札幌歯科技工士会 清水 崇

歯科技工士として就職したのは当時歯科技工士30名程の大型ラボ。そこに12年在籍し32歳で独立開業しました。この12年は今の仕事のスタイル、さらには人格までも大きく影響した12年でした。右も左もわからない新人時代から著名な歯科技工士、歯科医師のセミナーやワークショップなどを受講できる環境で身につけた知識と技術。さらに隣接する歯科医院で日常臨床を見学し模型上と口腔内の誤差を理解しチェアタイムを短くする術を学びました。

満を辞して開業。思うように仕事が増えない。知り合いの先生に連絡をとり地方も回り良い返事はされるものの模型が来ない。事業計画で立てた目標の半分の仕事もないまま10ヶ月ほど経過していました。その頃所属していたスタディーグループでの活動の中、一気に仕事を依頼されるようになり周りのディーラーさんからの紹介もあって、従業員を雇うほどになりました。

それからは毎日夜中までという従来の歯科技工士スタイルで突っ走ってきました。数年が経ち30代後半になる頃、このままのスタイルではきっと体がもたないし心の余裕もないので、きめ細かい歯科技工物が提供できるのだろうかと考えるようになりました。ちょうどCAD/CAM冠の保険導入のタイミングでもあり大きな借入れをし、スキャナーとミリングマシーンを導入。しかし導入したからといってすぐに時間短縮になるわけもなく、慣れない作業で余計に時間がかかる日々。ワックスアップの方が早いし。と本末転倒なことを言っていました。試行錯誤を繰り返し、デジタル関係のセミナーに参加したりすることで、導入から2年ほどかかりましたがワックスアップのようにデザインできるようになり、この辺りから作業時間が短縮されてきて、手作業のセラミックワークなどにより多くの時間をかけられるようになったことで、改めて歯科技工の楽しさを感じられるようになりました。

一昨年はラボを移転し、昨年4月開業10周年を迎え、11月法人化5期目とバタバタとしている中、初代ミリングマシーンのサポートが切れてしまったということで追加導入。

自分で開業するという事は仕事の内容、方法など自分で選択できます。しかし当然ながら、全責任がのしかかる。うまく行っているときは収入が増え豊かな暮らしができます。また突然仕事が激減することもあり得ます。このことを肝に銘じ、支えてくれる周りの人に感謝を忘れず、まだまだ続く長い歯科技工人生、歯科技工を楽しんで行こうと思います。



## ● ● 歯科技工における手話表現・見える言葉 ● ●

札幌歯科技工士会 工藤 三重子

人気になったTVドラマで手話が使われ、それまで手話には関心が無かった方々も持つようになったとか、きっかけは何であれ嬉しい知らせです。演じるのは、ほぼ聴こえる俳優さんで、手話はろう者（聴覚障害者）の方が演技指導されているようです。

現代社会の変化に対応するために温故知新、常にバージョンアップが必要なのは私たちの業界も手話も、あらゆる事に求められることなのですよ。

今回は、歯科技工用語手話研修会で習った手話「ユーチューブ」と昨年12月日本歯科技工士会開催のオンライン研修で取り上げられていた「リモートワーク」をご紹介します。

YouTube	リモートワーク	
口形：ゆーちゅーぶ	口形：りもーとわーく	
		
<p>左手親指と小指でアルファベット「Y」を作り、右掌を上下に動かす（画面）。</p>	<p>左手指を軽く曲げた状態（場所）に右手指を摘まんだ状態で添える。</p>	<p>右手指摘まんだ状態のまま水平に斜め前方に出す。</p>

※「ユーチューブ」「リモートワーク」の手話表現は[www.newsigns.jp](http://www.newsigns.jp)「新しい手話の動画サイト」でもご覧いただけます。

2022年度第10回北海道デフ歯科技工士協議会主催歯科技工用語手話研修会は、3月18日19:00～20:30、札幌市西区二十四軒2-6-1-1 札幌市身体障害者福祉センターにて行います。

他にオンラインで土曜日20時より「歯の手話フリートーク」は希望者のみで行っています。詳しくは北海道歯科技工士会にお問い合わせください。



# お知らせ

## ● ● 新型コロナウイルス感染症について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、情報を適宜掲示しています。 <https://dougi.or.jp>

## ● ● 北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。

<https://dougi.or.jp>

## ● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会 Twitter(ツイッター)公式アカウント開設について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、Twitter (ツイッター)公式アカウントを開設いたしました。本会に関わる情報を発信していきます。最新の研修会案内も投稿します。是非、Twitter をインストールしていただき北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。



## ● ● 学術論文の募集について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、歯科技工技能水準の向上と安全で安心な歯科補てつ物等の提供等により道民の健康増進に寄与するための公益事業として「学術優秀論文表彰」を行っております。下記のとおり「学術論文の募集」を行いますのでご応募下さい。

- 目的：歯科技工士ならびに歯科技工士学生の学術研鑽意欲の向上を図る目的で、応募のあった中から最優秀論文を選考し表彰する。
- 対象：北海道で就労している全ての歯科技工士および北海道内の歯科技工士養成機関の本科学生および専攻科等の学生。
- 論文内容：歯科技工技術知見に係わる全般で、文字数および図表等の枚数に制限はありません。
- 募集期間：2023年1月～2023年12月まで。
- 選考方法：応募期間中に寄せられた論文は、外部選考委員も含めた3名の選考委員によって最優秀論文を選考、決定します。
- 副賞：最優秀論文受賞者には、さらなる学術研鑽を積まれるように副賞を授与します。

### ■選考委員

【外部選考委員】北海道大学大学院 歯学研究科 横山 敦郎 教授  
北海道医療大学 歯学部 越野 寿 教授

【内部選考委員】公益社団法人北海道歯科技工士会 扇 照幾 会長

### ■お問い合わせ先：公益社団法人北海道歯科技工士会 事務局

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

TEL (011)717-7155 FAX (011)717-6954

e-mail [dougi@abelia.ocn.ne.jp](mailto:dougi@abelia.ocn.ne.jp)

## ● ● 理 事 会 報 告 ● ●

## 2022年度 第5回理事会議事録

日 時 2022年10月8日(土) 18:00～19:00

場 所 北海道歯科技工士会館

## 1 会長挨拶

新型コロナウイルス感染症の情報提供などに変化があるが、以前と変わらず感染症対策を講じていただきたい。今後、事業が立て込んでいるので、体調管理を徹底し事業に支障がないようにして貰いたいという主旨の挨拶があった。

## 2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・【承認】

道技役員選挙管理委員選出承認の件・・・【承認】

## 3 報告・協議事項

## (1) 全般

ア 2022年度地域組織会長懇談会議事日程(11月5日開催予定)について報告。

イ 2023年度各部事業計画(案)について報告。

ウ 2022年度各部事業報告(中間)について報告。

エ 2023年度収支予算(案)について報告。

## (2) 生涯研修

ア 第163回北海道歯科技工学術研修会(釧路)(2022年10月29日)タイムスケジュールについて報告。

大久保理事の第163回北海道歯科技工学術研修会への追加派遣について承認。

イ 第164回北海道歯科技工学術研修会(苫小牧)(2023年1月21日)講師選定について、三浦知也氏、辻 秀憲氏の2名で検討している旨の報告。

ウ 第162回北海道歯科技工学術研修会(岩見沢)(2022年9月10日)決算について報告。

## (3) 広報

ア ホームページの更新について報告。

イ 道歯技広報26号のレイアウトについて報告。

ウ 道技Twitterの更新について報告。

## (4) 総務

ア 2022年度第4回理事会議事録について報告。

イ 2022年度離島歯科診療班派遣事業第2班について報告。

ウ 2023年長寿祝い該当者について報告。

## (5) 財務

9月期の執行状況について報告。

## (6) 就労対策

9月末組織現況について報告。

## (7) 就労対策機会均等

LILAC2021コンテンツ(案)について報告。

## (8) その他

ア 日技2022年度第6回理事会について報告。

イ 北海道歯科技工士会館の修繕について報告。

ウ 「北海道新型コロナウイルス感染症対策本部第126回本部会議」における決定事項について(通知)報告。

エ 「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間」について報告。

オ 令和4年度医療安全推進週間の実施について報告。

カ 2022年度「歯科技工技術や機材等の研究・開発に関する表彰」において、西川副会長が表彰されるとの報告。

## 2022年度 第6回理事会議事録

日 時 2022年12月3日(土) 18:00～19:00(Web会議)

## 1 会長挨拶

今冬は、新型コロナウイルスが新たな変異株の発生とインフルエンザの同時流行が懸念されており、これまで以上の感染拡大が予想され、医療が逼迫する可能性があります。理事の皆さまには、この冬を安心して過ごすために、ご自身による感染防止対策が重要ですので感染防止行動の徹底をお願いします。

また、年末年始時期での混雑した場所への外出など、リスクが高まる場面における行動について慎重な行動をとっていただきたいと挨拶された。

## 2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・【承認】

## 3 報告・協議事項

## (1) 全般

ア 2022年度地域組織会長懇談会(11月5日開催)について報告。

イ 令和4年度北海道社会貢献賞に関する候補者の推薦について報告。

杉岡 範明氏を推薦することを承認。

## (2) 生涯研修

ア 第163回北海道歯科技工学術研修会(釧路)(2022年10月29日開催)について報告。

イ 第163回北海道歯科技工学術研修会決算書について報告。

ウ 第164回北海道歯科技工学術研修会(苫小牧)(2023年1月21日)のプログラムについて報告。

エ 第164回北海道歯科技工学術研修会予算案について報告。

## (3) 広報

ア ホームページの更新について報告。

イ 道歯技広報27号のレイアウトについて報告。

ウ 道技Twitterの更新について報告。

## (4) 受託技工

診療報酬改訂講習会(帯広)について報告。

## (5) 総務

ア 2022年度第5回理事会議事録について報告。

イ 2022年度離島歯科診療班派遣事業第1、2班について報告。

ウ 障がい者歯科技工士研修会(実技)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて今年度は中止にすると報告。

## (6) 財務

11月期の執行状況について報告。

## (7) 法規

ア 道技役員選挙管理委員会設置の件について報告。

イ 役員選挙告示について報告。

## (8) 就労対策

ア 11月末組織現況表について報告。

イ LILAC2022コンテンツ(案)について報告。

ウ 学校訪問説明会について報告。

## (9) その他

ア 日技2022年度第6回理事会について報告。

イ 各医療技術者団体新年会中止について報告。

ウ 道歯会通信広告掲載についてのお詫びの報告。

エ 広告の取り扱いについて報告。

オ 業務従事者届がオンラインで申請可能になったことについて報告。

## 編集後記

### テーマ「新生活」

●春、それまでとは全く違う環境にチャレンジする季節ですね。若者に限らず、いくつ年齢を重ねても誰でも（本人が望めば・・・）違う環境へ行けちゃいます。先日78歳になる母が、「ふまねっ」という運動のインストラクターの資格を得るため講習会に参加し、しっかりインストラクターになって帰ってきました。まだ、指導者としてのデビューはしていないらしいですが、わが母ながらアツパレです。

●春は新生活をスタートされる方が多い季節です。特に学生から社会人になる際は、大きな環境の変化となります。私も当時は、期待と不安を抱え、ただただ新しい環境に慣れることに精一杯でした。しかし新生活には新しい出会いもたくさんあり、その出会いは多くのことを学び、成長できる機会でもありました。これからも一つひとつの出会いを大切にしていきたいと思います。

●新生活といえば、引越し関係の手続きといっためんどくさいマイナスイメージがある私です…。同じことを長く続けていると、新生活の頃感じていた初心を忘れてしまうような気がしています。新生活の貴重な心情（良いことも悪いことも）を大切に、これからも奮闘していきたいと思います。

●新生活をスタートする学生や、社会人の方々は、親元を離れる場合も少なくはないでしょう。初め

て一人暮らしをした時を思い出すと、実家では当たり前のご飯があったり、掃除が行き届いていたり、親のありがたみを痛感しました。こうした親への感謝を忘れないでいたい。

●この時期になると新生活応援セールなど、デパートにいくと家電製品やリクルートスーツなど店頭に並んでいるのを見かける。もう少しで春が来るのかなと思いつつ、「一年の計は元旦にあり」とあるように掲げた目標を修正しつつ、フレッシュの皆さんと新年度をリスタートしたいと思う。

●春は新しいことを始めるのに良い季節ですね 皆さんはどんなことに挑戦しますか？  
私は先日から十数年離れていた楽器を再開しました。初心者としてのスタートですが毎日数分でも楽器を触っていると、昨日より成長したと感ずるときがあります。その瞬間が楽しいです。仕事でも日々の積み重ねが大切なことを改めて感じます。今日より明日が楽しくなるように過ごしたいと思っています。

### 広報委員会 メンバー

長口 睦好・廣田 高志・村上 珠緒  
若林 侑輝・佐々木英世  
オブザーバー 千葉 真一（HP 担当）



# 公益社団法人 北海道歯科技工士会 活動・会員特典紹介

## 講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の「歯科技工士生涯研修認定」学術大会(年1回)学術研修会(年3回)をはじめ、実技研修会・各セミナーを開催しています。  
**(Webによるハイブリッド開催も多数行っています。)**  
会員は基本受講料1,000円で参加できます。  
(卒後3年以内の会員は無料)



## 情報提供

日本歯科技工士会が発行する「日本歯技」(毎月)のほかに北海道歯科技工士会が「道歯技広報」(年3回)を発行しています。  
歯科技工に関わる最新の情報をホームページの会員限定ページやTwitterにて、随時、情報発信しています。

## 歯科技工士仲間や関係団体との交流

各地域歯科技工士会において、地域歯科医師会・歯科衛生士会との共同行事や歯の健康週間をはじめとする市民貢献イベント等、様々な行事やボウリング大会・ゴルフ大会等、レクリエーションが行われています。



## 厚生労働省や関連団体との交渉窓口

歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。また、診療報酬改定などの情報をタイムリーに発信しています。

## 慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ <https://dougi.or.jp>

Twitter公式アカウントのフォローをお願いします。

